



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月27日

上場会社名 株式会社ノバレーゼ 上場取引所 東
 コード番号 2128 URL <http://www.novarese.co.jp/corp/ir/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)荻野洋基
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)増山晃年 (TEL)03(5524)1122
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 平成28年9月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績(平成28年1月1日~平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	7,288	0.3	318	△1.9	272	△15.7	86	—
27年12月期第2四半期	7,266	4.3	324	△34.1	322	△33.9	△37	—

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 69百万円(—%) 27年12月期第2四半期 △39百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	8.45	—
27年12月期第2四半期	△3.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第2四半期	13,107	6,741	51.4
27年12月期	14,234	6,826	48.0

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 6,741百万円 27年12月期 6,826百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	15.0	—	15.0	30.0
28年12月期	—	15.0	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	15.0	30.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日~平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,900	2.9	1,780	5.2	1,780	4.2	1,150	50.7	111.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年12月期2Q	10,717,200株	27年12月期	10,717,200株
28年12月期2Q	430,610株	27年12月期	430,610株
28年12月期2Q	10,286,590株	27年12月期2Q	10,286,600株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足資料の入手方法について)

決算補足資料は平成28年8月2日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成28年8月2日・・・・・・アナリスト向け決算説明会

※ 上記説明会のほかにも、当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年1月1日～平成28年6月30日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢に改善が見られ、消費者物価についても緩やかな上昇傾向が継続するなど、政府の各種政策の効果により緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、中国をはじめとするアジア新興国や資源保有国の景気下振れなど海外景気の不確実性の高まりが顕在化しており先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、「Rock Your Life 世の中に元気を与え続ける会社でありたい」との経営理念のもと、重点施策について取り組みを行ってまいりました。

新たな施策としては、潜在顧客層への当社ブランドの認知度向上および結婚式自体の価値の訴求による顧客発掘を目的として、女性向けウェブマガジン「TREE」(ツリー)を創刊いたしました。婚姻件数が減少し、かつ披露宴や挙式をしない「ナン婚」層の若者が増えるなか、結婚式の魅力をウェブマガジンとして客観的に発信することで、潜在顧客を開拓しすそ野拡大を図ります。また、婚礼衣裳部門におきましては、英国プリンセス愛用の「テンパリー・ロンドン」やハリウッドスターはじめNYセレブご用達の「キャロリーナ・ヘレナ」など海外人気ドレスブランドの2016年秋冬コレクション12型を平成28年3月より当社ドレスショップ「NOVARESE」全店においてレンタル・販売を開始いたしました。

ブライダル事業における店舗展開については、平成25年12月に開業した「辻家庭園」(石川県金沢市)敷地内に、昨今増加している親族や友人のみなど少人数でも高品質な披露宴が行える専用の婚礼施設を「辻家庭園別邸」(石川県金沢市)として平成28年4月に開業いたしました。また、来期以降のオープンに向けたゲストハウス候補地の選定を進めるなど、さらなる今後の事業エリア拡大に向け検討を進めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の受注組数は、1,562組(前年同期比7.3%減)、受注残組数は2,027組(前年同期比11.5%減)と昨年度から引き続き苦戦を強いられ減少することとなりました。また、売上高については7,288百万円(前年同期比0.3%増)となりましたが、利益面では主に前連結会計年度に開業した店舗の固定費が増加したことや持分法投資損失の発生により営業利益318百万円(前年同期比1.9%減)、経常利益272百万円(前年同期比15.7%減)となり親会社株主に帰属する四半期純利益は86百万円(前年同期は37百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末における当社グループが展開する店舗数は以下のとおりであります。

セグメント	ブライダル事業				レストラン特化型事業
	ゲストハウス	中価格帯施設	ドレスショップ	提携施設	
国内	25	3	17	2	6
海外	—	—	—	—	3

セグメント別の状況は次のとおりであります。

(ブライダル事業)

ブライダル事業においては、前連結会計年度に開業した「アマンダンセイル」、「松山モノリス」および「郡山モノリス」の通期稼働の影響により、売上高は6,668百万円(前年同期比0.4%増)、セグメント利益は928百万円(前年同期比8.9%減)となりました。

(レストラン特化型事業)

レストラン特化型事業においては、前連結会計年度に開業した「セラフィーナニューヨーク 松山大街道店」が通期で寄与しましたが、1店舗閉鎖の影響により売上高は619百万円(前年同期比1.2%減)、セグメント損失は44百万円(前年同期は143百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、13,107百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,126百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が763百万円および建物及び構築物(純額)が195百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債総額は、6,365百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,042百万円減少いたしました。主な要因は、短期借入金が300百万円および前受金が212百万円それぞれ増加しましたが、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)が517百万円、流動負債のその他が516百万円、未払法人税等が403百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産総額は、6,741百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円減少いたしました。主な要因は、利益剰余金が67百万円減少(親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により86百万円増加、前事業年度の期末配当の実施で154百万円の減少)したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は1,302百万円となり、前連結会計年度末に比べ763百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は327百万円(前年同期比22.3%減)となりました。主な要因は、法人税等の支払による支出が514百万円および未払金の減少が115百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益の計上232百万円、減価償却費656百万円および前受金の増加額が212百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は720百万円(前年同期は926百万円の使用)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出が728百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は371百万円(前年同期は384百万円の獲得)となりました。主な要因は、運転資金の借入により短期借入金が300百万円増加しましたが、長期借入金の返済による支出517百万円および配当金の支払額154百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年1月29日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

企業結合に関する会計基準等の適用

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)および「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

有形固定資産の減価償却方法の変更

国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,066,179	1,302,813
売掛金	273,764	181,354
商品	93,336	131,525
原材料及び貯蔵品	142,514	133,107
その他	283,219	287,056
流動資産合計	2,859,014	2,035,858
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,011,469	7,816,281
土地	1,075,994	1,075,994
建設仮勘定	16,657	27,019
その他(純額)	488,245	466,915
有形固定資産合計	9,592,367	9,386,212
無形固定資産	97,984	82,537
投資その他の資産		
差入保証金	857,561	805,462
その他	827,356	797,622
投資その他の資産合計	1,684,918	1,603,085
固定資産合計	11,375,270	11,071,834
資産合計	14,234,285	13,107,692
負債の部		
流動負債		
買掛金	614,508	502,500
短期借入金	1,100,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	955,198	869,784
未払法人税等	510,131	106,985
前受金	684,068	896,850
賞与引当金	112,936	68,433
その他	1,357,886	841,316
流動負債合計	5,334,728	4,685,870
固定負債		
長期借入金	1,525,858	1,094,248
資産除去債務	469,877	510,687
その他	77,578	75,165
固定負債合計	2,073,314	1,680,100
負債合計	7,408,043	6,365,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	608,825	608,825
資本剰余金	468,373	468,373
利益剰余金	5,820,828	5,753,499
自己株式	△109,918	△109,918
株主資本合計	6,788,109	6,720,780
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	37,128	19,676
その他の包括利益累計額合計	37,128	19,676
非支配株主持分	1,004	1,264
純資産合計	6,826,242	6,741,721
負債純資産合計	14,234,285	13,107,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	7,266,493	7,288,298
売上原価	3,379,786	3,345,676
売上総利益	3,886,706	3,942,622
販売費及び一般管理費	3,561,957	3,624,055
営業利益	324,749	318,566
営業外収益		
受取利息	2,216	2,728
持分法による投資利益	4,375	—
その他	2,816	3,214
営業外収益合計	9,407	5,943
営業外費用		
支払利息	11,103	9,800
持分法による投資損失	—	42,492
その他	230	10
営業外費用合計	11,334	52,303
経常利益	322,822	272,206
特別利益		
固定資産売却益	—	92
特別利益合計	—	92
特別損失		
固定資産除却損	4,369	4,209
減損損失	281,880	35,127
特別損失合計	286,250	39,337
税金等調整前四半期純利益	36,572	232,961
法人税、住民税及び事業税	136,609	110,134
法人税等調整額	△62,303	35,596
法人税等合計	74,306	145,730
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,734	87,230
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	260
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△37,735	86,970

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,734	87,230
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,351	△17,452
その他の包括利益合計	△1,351	△17,452
四半期包括利益	△39,086	69,778
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39,086	69,517
非支配株主に係る四半期包括利益	0	260

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	36,572	232,961
減価償却費	669,909	656,834
持分法による投資損益(△は益)	△4,375	42,492
賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,728	△44,503
受取利息及び受取配当金	△2,217	△2,729
支払利息	11,103	9,800
減損損失	281,880	35,127
固定資産売却損益(△は益)	—	△92
固定資産除却損	4,369	4,209
その他の損益(△は益)	—	△2,421
売上債権の増減額(△は増加)	49,372	92,409
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,279	△28,782
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△48,861	△55,742
仕入債務の増減額(△は減少)	△94,270	△112,007
前受金の増減額(△は減少)	269,530	212,782
未払金の増減額(△は減少)	△41,418	△115,317
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△199,951	△76,928
その他の固定資産の増減額(△は増加)	7,780	3,136
その他の固定負債の増減額(△は減少)	93	△2,413
小計	910,510	848,817
利息及び配当金の受取額	2,217	2,729
利息の支払額	△11,869	△9,510
法人税等の支払額	△478,608	△514,126
営業活動によるキャッシュ・フロー	422,250	327,909
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△918,094	△728,764
有形固定資産の売却による収入	—	92
無形固定資産の取得による支出	△15,097	△29,634
差入保証金の差入による支出	△18,894	△6,786
差入保証金の回収による収入	26,047	44,390
その他	△950	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△926,989	△720,702
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	600,000	300,000
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△582,216	△517,024
配当金の支払額	△133,715	△154,396
非支配株主からの払込みによる収入	600	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	384,668	△371,420
現金及び現金同等物に係る換算差額	△755	847
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△120,826	△763,365
現金及び現金同等物の期首残高	1,558,830	2,066,179
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,438,003	1,302,813

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。